

令和5年3月13日

報道機関各位

長岡市環境部環境政策課長



長岡市トキ分散飼育センター

国内飼育下の産卵シーズン始まる

長岡市トキ分散飼育センターで、今期初となるトキの産卵を確認しました。3月10日（金）と12日（日）に産卵があり、2個のうち最初の1個は巣内で破卵しました。破卵していない卵については、その後の発育が順調な場合、4月中旬にヒナが生まれる見込みです。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせします。

初産卵の状況

1 初産卵確認日時

令和5年3月10日（金）午後5時55分

飼育担当者が監視カメラの映像にて卵1個を確認

2 産卵ペア

・オス 2017年5月25日

多摩動物公園生まれ（6歳）

・メス 2019年4月30日

佐渡トキ保護センター生まれ（4歳）

※中国から提供された楼楼

（ロウロウ）系統



【卵を産んだ後の様子（足元に卵）】

3 取材について

環境省の方針により、繁殖ペアは非公開で飼育しており、またトキのストレスを軽減するため、取材はできません。ご了承ください。

画像（静止画）の提供を希望する場合は、環境政策課（0258-24-0528）までお問い合わせください。

【令和4年の飼育下における国内の繁殖実績】

繁殖ペア	産卵		ふ化	巣立ち
		1ペア平均		
21組	114個	5.4個	30羽	27羽

※長岡市トキ分散飼育センターでは、2組のペアが繁殖に取り組み、8個の卵から4羽がふ化しています。

問い合わせ

【トキの分散飼育事業について】 環境政策課 里村 TEL 0258-24-0528

【飼育・繁殖状況について】 トキ分散飼育センター 瀧澤 TEL 0258-75-3160